

平成23年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年1月11日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 アイケイ
 コード番号 2722 URL <http://www.ai-kei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理統括
 四半期報告書提出予定日 平成23年1月14日

(氏名) 飯田 裕
 (氏名) 高橋 伸宜

TEL 052-486-5050

配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年5月期第2四半期の連結業績(平成22年6月1日～平成22年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年5月期第2四半期	4,586	—	32	—	21	—	25	—
22年5月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年5月期第2四半期	1,450.44	—
22年5月期第2四半期	—	—

(注)平成23年5月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成22年5月期の数値及び対前年四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年5月期第2四半期	4,122	1,185	28.7	67,372.77
22年5月期	—	—	—	—

(参考)自己資本 23年5月期第2四半期 1,185百万円 22年5月期 1百万円

(注)平成23年5月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成22年5月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年5月期	—	0.00	—	1,400.00	1,400.00
23年5月期	—	0.00	—	—	—
23年5月期(予想)	—	—	—	1,500.00	1,500.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年5月期の連結業績予想(平成22年6月1日～平成23年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,020	—	184	—	185	—	183	—	10,403.05

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

平成23年5月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため対前期増減率については記載しておりません。

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年5月期2Q 19,520株 22年5月期 19,520株

② 期末自己株式数 23年5月期2Q 1,929株 22年5月期 1,929株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年5月期2Q 17,591株 22年5月期2Q 17,591株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、（添付資料）2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. (参考) 四半期財務諸表(個別)	9
(1) 四半期貸借対照表	9
(2) 四半期損益計算書	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や企業の業況感に引き続き緩やかな改善が見られましたものの、輸出や生産の増加ペースの鈍化、また雇用や所得環境は依然厳しい状況にあるなか、為替市場は円高傾向で推移する等、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、通信販売事業では、雑貨類においては主力商品に成長した化粧品企画の提案強化を更に推し進めることに注力し、化粧品企画を順調に獲得してまいりました。また、食品類においては生協ルートでの共同購入企画の提案を強化する一方、商品面では「ローカロ生活のぞうすい」キャンペーンの拡販に注力してまいりました。

SKINFOOD事業では、引き続きSKINFOOD化粧品ブランドの構築に注力しており、大都市圏の商業エリアの一等地への出店を進めており、当第2四半期連結会計期間に直営店2店、FC店1店を出店いたしましたことから、当第2四半期連結会計期間末におけるSKINFOOD店舗数は直営店7店、FC店3店となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,586百万円、営業利益32百万円、経常利益21百万円、四半期純利益25百万円となりました。

なお、当社は連結四半期財務諸表の作成初年度であるため、前第2四半期連結会計期間比較については、記載しておりません。

セグメント別の業績は次のとおりです。(売上は外部顧客への売上高を記載しております)

- ・通信販売事業

売上高は4,311百万円となり、セグメント利益は37百万円となりました。

- ・SKINFOOD事業

売上高は275百万円となり、セグメント利益は3百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は4,122百万円となりました。このうち、流動資産は3,265百万円となり、主な内訳として受取手形及び売掛金が1,837百万円となりました。また固定資産は857百万円となり、主な内訳として有形固定資産が517百万円となりました。負債は2,937百万円となり、主な内訳として流動負債が2,244百万円となりました。純資産は1,185百万円となり、主な内訳として利益剰余金が541百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、404百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動における資金の増加は101百万円となりました。これは、たな卸資産の増加63百万円に対して、仕入債務の増加111百万円、その他負債の増加40百万円があったことが主な要因であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動における資金の減少は113百万円となりました。これは差入保証金の差入による支出43百万円、有形固定資産の取得による支出36百万円及び、貸付による支出32百万円があったことが主な要因であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動における資金の増加は309百万円となりました。これは短期借入金の増加350百万円と長期借入金の増加200百万円があったことに対し、長期借入金の返済による支出216百万円があったことが主な要因であります。

(注) 当社は、連結四半期財務諸表の作成初年度であるため、前第2四半期連結会計期間比較の記載は行っておりません。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点において、平成22年9月14日付「連結決算の開始及び業績予想に関するお知らせ」で公表した業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便な会計処理)

繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前会計年度末以降に経営環境等かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(特有の会計処理)

税金費用の計算

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。これによる当第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響額は軽微であります。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間末
 (平成22年11月30日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	404,236
受取手形及び売掛金	1,837,802
商品及び製品	891,395
その他	136,940
貸倒引当金	△5,354
流動資産合計	3,265,022
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物(純額)	239,498
土地	260,225
その他(純額)	17,480
有形固定資産合計	517,205
無形固定資産	73,008
投資その他の資産	
その他	275,626
貸倒引当金	△8,088
投資その他の資産合計	267,538
固定資産合計	857,751
資産合計	4,122,774
負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	1,065,689
短期借入金	350,000
1年内返済予定の長期借入金	442,944
役員賞与引当金	3,470
ポイント引当金	15,015
返品調整引当金	10,968
その他	356,712
流動負債合計	2,244,798
固定負債	
長期借入金	525,098
退職給付引当金	47,746
役員退職慰労引当金	109,447
その他	10,529
固定負債合計	692,820
負債合計	2,937,619

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間末
(平成22年11月30日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	401,749
資本剰余金	324,449
利益剰余金	541,913
自己株式	△84,490
株主資本合計	1,183,622
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	△240
評価・換算差額等合計	△240
少数株主持分	1,771
純資産合計	1,185,154
負債純資産合計	4,122,774

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年6月1日 至 平成22年11月30日)
売上高	4,586,493
売上原価	2,873,810
売上総利益	1,712,683
販売費及び一般管理費	1,680,638
営業利益	32,044
営業外収益	
受取利息	52
受取手数料	3,501
助成金収入	1,400
その他	867
営業外収益合計	5,820
営業外費用	
支払利息	9,002
為替差損	7,129
営業外費用合計	16,132
経常利益	21,733
特別利益	
投資有価証券売却益	1,799
特別利益合計	1,799
特別損失	
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	82
特別損失合計	82
税金等調整前四半期純利益	23,450
法人税等	△2,063
少数株主損益調整前四半期純利益	25,514
四半期純利益	25,514

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
(自 平成22年6月1日
至 平成22年11月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	23,450
減価償却費	33,320
のれん償却額	1,771
貸倒引当金の増減額(△は減少)	136
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,430
退職給付引当金の増減額(△は減少)	4,662
ポイント引当金の増減額(△は減少)	543
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△3,071
受取利息及び受取配当金	△52
支払利息	9,002
為替差損益(△は益)	7,129
売上債権の増減額(△は増加)	△44,710
たな卸資産の増減額(△は増加)	△63,843
仕入債務の増減額(△は減少)	111,455
未収消費税等の増減額(△は増加)	4,281
未払消費税等の増減額(△は減少)	△13,460
その他の資産の増減額(△は増加)	4,598
その他の負債の増減額(△は減少)	40,813
小計	114,599
利息及び配当金の受取額	51
利息の支払額	△8,846
法人税等の支払額	△4,175
営業活動によるキャッシュ・フロー	101,629
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△36,623
無形固定資産の取得による支出	△900
貸付けによる支出	△32,710
貸付金の回収による収入	3,509
差入保証金の差入による支出	△43,431
その他	△2,861
投資活動によるキャッシュ・フロー	△113,017
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	350,000
長期借入れによる収入	200,000
長期借入金の返済による支出	△216,072
配当金の支払額	△24,144
財務活動によるキャッシュ・フロー	309,783
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7,129
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	291,265
現金及び現金同等物の期首残高	107,707
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	5,263
現金及び現金同等物の四半期末残高	404,236

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社グループは主に通信販売事業とSKINFOOD事業を営んでおりますことから、当社グループは「通信販売事業」及び「SKINFOOD事業」を報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自平成22年6月1日至平成22年11月30日)

(単位:千円)

	通信販売 事業	SKINFOOD 事業	計	調整額 (注)1	四半期連結損益計 算書計上額(注)2
売上高					
外部顧客への売上高	4,311,145	275,347	4,586,493	—	4,586,493
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	72,547	72,547	△72,547	—
計	4,311,145	347,894	4,659,040	△72,547	4,586,493
セグメント利益	37,224	3,050	40,274	△8,230	32,044

(注) 1. セグメント利益の調整額△8,230千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. (参考) 四半期財務諸表 (個別)

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年11月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	373,853	107,707
受取手形及び売掛金	1,807,716	1,789,519
商品及び製品	810,041	770,243
その他	138,860	120,054
貸倒引当金	△5,375	△5,219
流動資産合計	3,125,096	2,782,305
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	218,474	209,990
土地	260,225	260,225
その他(純額)	15,336	15,050
有形固定資産合計	494,037	485,266
無形固定資産	70,592	90,921
投資その他の資産		
その他	283,719	242,537
貸倒引当金	△8,156	△8,086
投資その他の資産合計	275,562	234,537
固定資産合計	840,192	810,639
資産合計	3,965,289	3,592,945

(単位:千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年11月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,074,981	956,898
短期借入金	350,000	—
1年内返済予定の長期借入金	389,424	391,884
役員賞与引当金	2,600	4,900
ポイント引当金	15,015	14,472
返品調整引当金	10,968	14,039
その他	336,233	332,599
流動負債合計	2,179,222	1,714,793
固定負債		
長期借入金	400,978	498,950
退職給付引当金	47,746	43,083
役員退職慰労引当金	109,447	109,447
固定負債合計	558,171	651,481
負債合計	2,737,393	2,366,274
純資産の部		
株主資本		
資本金	401,749	401,749
資本剰余金	324,449	324,449
利益剰余金	586,427	584,962
自己株式	△84,490	△84,490
株主資本合計	1,228,135	1,226,671
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△240	—
評価・換算差額等合計	△240	—
純資産合計	1,227,895	1,226,671
負債純資産合計	3,965,289	3,592,945

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成21年6月1日 至 平成21年11月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成22年6月1日 至 平成22年11月30日)
売上高	4,054,077	4,415,431
売上原価	2,594,905	2,800,885
売上総利益	1,459,172	1,614,546
販売費及び一般管理費	1,453,360	1,589,633
営業利益	5,811	24,912
営業外収益		
受取利息	58	299
受取手数料	3,720	3,501
その他	3,373	815
営業外収益合計	7,151	6,415
営業外費用		
支払利息	6,906	7,353
為替差損	235	101
営業外費用合計	7,142	7,454
経常利益	5,821	22,073
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1,799
貸倒引当金戻入額	204	—
特別利益合計	204	1,799
特別損失		
資産除去債務影響額	—	22
投資有価証券評価損	2,136	—
関係会社株式評価損	1,197	—
特別損失合計	3,333	22
税引前四半期純利益	2,692	23,851
法人税等	1,528	△2,240
四半期純利益	1,164	26,091